

2023年度

明治学院大学大学院 入学試験要項

(全研究科共通)

文 学 研 究 科
経 済 学 研 究 科
社 会 学 研 究 科
法 学 研 究 科
国 際 学 研 究 科
心 理 学 研 究 科
法 と 経 営 学 研 究 科

大規模自然災害、感染症の拡大等、不測の事態（大学の臨時休校など）が発生した場合は、適宜本学 Web サイトにて対応を發表します。

<https://www.meijigakuin.ac.jp>

◆保存版（入学するまで使用します）

この入学試験要項には、出願から入学手続きにいたるまでに必要な事項が記載してあります。熟読してその指示に従い、間違いのないよう十分注意してください。

— 目 次 —

人材養成上の目的・教育目標と入学者受入れの方針
(アドミッション・ポリシー)

< 共通事項 >

募集人員	1
入試制度名と略称・入試日程	2
合格発表	3
入学検定料	4
試験場／受験票について／受験日当日の注意／ 入学試験過去問題／日本語の学力について／ 教員免許状の取得について	5
入学手続方法	6
学納金等／提携教育ローン	7
奨学金・奨励金	8
入学資格審査	9
キャンパスガイド	11
大学・学部コード一覧	13

< 専攻別出願方法 >

英文学専攻	18
フランス文学専攻	21
芸術学専攻	23
経済学専攻	25
経営学専攻	29
社会学専攻	30
社会福祉学専攻	33
法律学専攻	37
国際学専攻	39
心理学専攻	42
教育発達学専攻	48
法と経営学専攻	50

人材養成上の目的・教育目標と入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1 大学院

人材養成上の目的・教育目標

明治学院大学大学院は、建学の精神すなわち「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎とし、教育理念“Do for Others（他者への貢献）”を実現するため、深奥なる学術の理論および応用を研究教授し、さらに進んで研究指導能力を養い、また、高度で専門的な職業能力を有する深い学識および卓越した能力を培い、もって人類の文化の発展と福祉の増進に貢献する能力を身につけた人間を育成することを目的とする。

このような目的のもと、大学院は学士課程において培った能力をさらに発展させ、研究倫理を有するとともに、高度の分析力と構想力を備え、自らのキャリアをデザインする力を有し、コミュニケーション力をもって他者を理解し、共に生きる力を身につけ、知的な素養を持つ人間、研究能力を持つ人間、高度で専門的な職業に従事する人間を育成することを教育の目標とする。

入学者の受入れに関する方針

明治学院大学大学院は、「人材養成上の目的・教育目標」に定める人間を育成するため、次のとおり入学者受入れの方針を定める。

【修士課程・博士前期課程】

〈求める人材像〉

- 1 学士課程において修得すべき能力を身につけ、学術の深奥なる理論・応用を真摯に探求し、自立した研究者や高度職業人を目指す意欲がある。

〈入学者選抜の基本的方針〉

- 1 入学者選抜は、学士課程において修得すべき能力を身につけているかについて評価する。
- 2 筆記試験および面接あるいはいずれかにより評価する。

【博士後期課程】

〈求める人材像〉

- 1 修士課程または博士前期課程において修得した知識基盤、高度な研究能力、卓越した職業能力、研究倫理のうえに、さらにこれを発展させ学術の深奥なる理論・応用を極め、自立した研究者や卓越した高度職業人を目指す意欲がある。

〈入学者選抜の基本的方針〉

- 1 修士課程または博士前期課程において修得した知識基盤、高度な研究能力、卓越した職業能力、研究倫理のうえに、さらにこれを発展させ学術の深奥なる理論・応用を極め、自立した研究者や卓越した高度職業人を目指す意欲があるかについて評価する。
- 2 入学者選抜は、修士課程または博士前期課程において修得すべき能力を身につけているかについて評価する。

2 文学研究科

人材養成上の目的・教育目標

文学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、文学研究科の「人材養成上の目的および教育目標」を次のとおり定める。

文学研究科では、さまざまな創造活動や表現行為の研究を通して、人間のありようやそのあるべき姿を総合的にとらえることを目指している。その領域は文化、芸術、思想などの多くの分野に及ぶ。各分野における学知を探求し、領域横断的な人文知の発展に貢献する人間を育成することを教育の目標とする。

このような目的のもと、博士前期課程では、学士課程において培った能力をさらに発展させ、研究倫理を有するとともに、広い視野と深い学識に基づいた研究能力と専門的職業人としての能力を養うことを、博士後期課程では、研究倫理を有するとともに、専攻分野における自立した研究者としての能力、および高度に専門的な業務に従事し得る能力を養うことを目的としている。

●英文学専攻

文学研究科英文学専攻は、文学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、英文学専攻の「人材養成上の目的および教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

英米文学・文化、英語学・言語学、英語教育学についての高度な専門的学識を授け、後期課程に進学し研究職を目指すために必要な研究能力をもつ人材や、英米文学・文化、英語学・言語学、英語教育学の専門的知識を基盤に英語教育の実践の場で活躍できる人材、さらには英米文学・文化、英語学・言語学、英語教育学についての専門的知識を必要とする職業に就くことのできる人材の養成

【博士後期課程】

研究者として自立し得る人材、または高度な専門的学識を基盤に、専門的知識を授け次の世代の研究者を養成し得る人材の養成

●フランス文学専攻

文学研究科フランス文学専攻は、文学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、フランス文学専攻の「人材養成上の目的および教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

フランス語圏やフランスとかかわりのある国と地域における、文学、思想、芸術に関する広い視野と高度な知識および研究倫理を身につけ、研究能力と専門的職業人としての能力を培った、広く文化的な領域で活躍できる人材の養成

【博士後期課程】

複合的な世界観に立った個々の文化研究を深め、日本語とフランス語での自己表現能力を身につけた、研究者として自立できる能力と高度に専門的な職業に就きうる能力および研究倫理を有する人材の養成

●芸術学専攻

文学研究科芸術学専攻は、文学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、芸術学専攻の「人材養成上の目的および教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

芸術と真摯に向き合い、様々な文化的・社会的・歴史的コンテキストのなかで芸術をとらえる知的能力と感性を有し、それぞれの専門分野（音楽学研究コース、映像芸術学研究コース、美術史学研究コース、芸術メディア論研究コース、演劇身体表現論研究コース）に関する広い視野と高度な知識を身につけ、研究倫理を有するとともに、研究能力と専門的職業人としての能力を培った、広く文化的な領域分野で活躍できる人材の養成

【博士後期課程】

専門的な研究領域における研鑽に加え、さらに高度の専門知識と芸術的感性のバランスを有し、研究倫理を有するとともに、研究者として、あるいは専門的職業人として、国内外の学界および芸術に関わる様々な分野で活躍・貢献できる人材の養成

入学者の受入れに関する方針

文学研究科は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、文学研究科および各専攻の定める「人材養成上の目的・教育目標」に照らして、文学研究科および各専攻の「課程修了の認定・学位授与の方針」・「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

博士前期・後期課程および各専攻に共通する方針は、以下のとおりである。

1 求める人材像

- (1) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解・共感し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、大学院における各領域における高度な学習と研究を経て、共生社会の担い手である教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献しようとする意欲とその可能性を有している。
- (2) 大学院における学びを進めるにあたり、学士課程等（博士後期課程にあっては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎的な能力を身につけている。

2 入学者選抜の基本方針

上記の「求める人材像」に掲げる意欲と可能性および基礎的な能力を有しているかについて筆記試験および面接あるいはいずれかにより適切な試験を行う。筆記試験においては学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎学力を、面接試験においては、教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献しようとする意欲とその可能性の有無を重点的に評価する。

各専攻の方針は、次のとおりである。

●英文学専攻

【博士前期課程】

英米文学・文化、英語学・言語学、英語教育学の各領域において、高度な専門的学識を獲得し研究能力を發展させる意欲と可能性のある学生を求める。入学試験は秋季、春季の2回行う。志願者には研究に必要な語学力・学識を確かめる筆記試験を課し、面接試験を行う。合否は、筆記試験と面接試験により、適性を総合的に判断して決定する。成績優秀あるいは卒業論文提出済みの本学学生の志願者については、面接試験のみを行い、適性を判断し合否を決定する。

【博士後期課程】

博士前期課程で身につけた専門分野の学識・研究能力をさらに深め發展させる意欲と可能性のある学生を求める。志願者には修士論文（またはそれに相当する論文）の提出と、研究に必要な語学力と専門的学識・分析力を確かめる筆記試験および面接試験を課す。合否は、論文、筆記試験、面接試験により、適性を総合的に判断して決定する。

●フランス文学専攻

【博士前期課程】

フランス語と、フランス・フランス語圏・フランスにかかわりのある国と地域の文学・思想・芸術について、高度な知識と見識を身につけ、それを自ら表現し、文化的な領域で活躍する意欲と可能性のある者を求める。入学試験は春季1回のみおこなう。志願者には研究計画書を提出させる。試験は、専門領域の知識やフランス語力をみる「専門・フランス語」の筆記試験と、「第2外国語」の筆記試験、および面接試験（研究計画書についての質疑応答もおこなう）を課す。合否は、筆記試験と面接試験を総合的に判断して決定する。

【博士後期課程】

上記の領域について、さらに高度な専門的学識をもち、自立した研究者となるべく自ら切磋琢磨してゆく意欲と可能性のある者、高度に専門的な領域の職業に就く意欲と可能性のある者を求める。入学試験は春季1回のみおこなう。志願者には修士論文を提出させる。試験は、フランス語力をみる筆記試験および面接試験（修士論文についての質疑応答もふくむ）をおこなう。合否は、筆記試験と面接試験を総合的に判断して決定する。

●芸術学専攻

【博士前期課程】

音楽学、映像芸術学、美術史学、芸術メディア論、演劇身体表現論のいずれかの領域について、基本的な専門知識と感性および論理的表現力を持ち、研究計画に従ってその能力を高め、社会および学術的に活躍する意欲と可能性のある者を求める。入学試験は春季1回のみ行う。志願者には基本的専門知識と研究に必要な語学力（英語とコースによっては第二外国語）の筆記試験、卒業論文ないしはそれに相当する論文の提出、および面接試験を課す。最重要視する評価手段は各コースにより異なるが、合否は、筆記試験と面接試験により、適性を総合的に判断して決定する。

【博士後期課程】

上記の領域について、さらに高度な専門的学識と論文作成能力を有し、芸術への感性を磨くとともに自立した研究者となるべく自らを鍛えていく意欲と可能性のある者を求める。入学試験は春季1回のみ行う。志願者には修士論文の提出、面接試験、および研究に必要な語学能力を見る筆記試験を課す。合否は、筆記試験と面接試験により、適性を総合的に判断して決定する。

3 経済学研究科

人材養成上の目的・教育目標

経済学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、経済学研究科の「人材養成上の目的および教育目標」を次のとおり定める。

経済学研究科は、「キリスト教による人格教育」と学問の自由を基礎として、“Do for Others”の精神に基づいて国内外で貢献できる有為の学者、および国際化・情報化時代に対応できる高度専門的職業人の養成を教育理念として展開している。この理念を基に、本研究科は、深奥なる学術の理論および応用の研究を教授し、更に進んで研究能力を養い、また高度で専門的な職業能力を有する深い学識および卓越した能力を養い、もって人類の文化と福祉の増進に貢献することを教育研究の目的・人材養成の目的とする。

本研究科は、以下の三つの役割を担いながら、博士前期課程と博士後期課程を有する最高学位授与機関としての社会的役割に貢献していくことを目指す。

- ①創造的・先駆的な学術研究の推進と国際貢献
- ②全人格的教育を基に創造的豊かな研究者の養成
- ③高度な専門知識・能力を持つ職業人の養成

●経済学専攻

【博士前期課程】

景気や財政・金融をはじめ多種多様な問題の実態の解明と対応策を考察することのできる力と、理論、制度、歴史の実証的な研究能力を持つ人材の養成を目標とする。

【博士後期課程】

将来独立した研究活動を行うのに必要な研究能力の養成を目的とした「専門性」を備え、「洞察力」と「解決能力」に優れた研究教育者の養成、または高度な専門性を持つ職業人の養成を目標とする。

●経営学専攻

【博士後期課程】

学界最前線を担う研究者の養成を主眼とし、理論的基礎力の十分な理解の促進、将来の研究者としての資質の養成、または将来の教育者としての人材の養成を目標とする。

入学者の受入れに関する方針

経済学研究科は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、経済学研究科および各専攻の定める「人材養成上の目的・教育目標」に照らして、経済学研究科および各専攻の「課程修了の認定・学位授与の方針」・「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

経済学研究科の「入学者の受入れに関する方針」は、各専攻において定める。

●経済学専攻

【博士前期課程・博士後期課程】

1 求める人材像

- (1) 大学院における経済学の高度な研究に取り組む上で、学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、大学院において更に経済学の深奥なる学術知識を得て、共生社会の担い手である研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲および可能性をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

入学者選抜にあつては、「筆記試験」および「面接試験」あるいはいずれかを行い、「入学者選抜の基本方針

に則って評価する。

「筆記試験」では、学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、研究者または高度専門職業人として主体的に社会に貢献する意欲と可能性の有無を重点的に評価する。

●経営学専攻

【博士後期課程】

1 求める人材像

- (1) 経営学の高度な研究に取り組む上で、博士前期課程または修士課程で修得すべき基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、博士後期課程において更に経営学の深奥なる学術知識を得て、共生社会の担い手である研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲および可能性をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

入学者選抜にあたっては、「筆記試験」および「面接試験」あるいはいずれかを行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。

「筆記試験」では、博士前期または修士課程で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、研究者または高度専門職業人として主体的に社会に貢献する意欲と可能性の有無を重点的に評価する。

4 社会学研究科

人材養成上の目的・教育目標

社会学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、社会学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

社会は人と環境との関係からなり、また、人は常に他者とその存在を意識している。社会学研究科では、私たちが直面する社会の問題に対し、なぜそのような問題が生じ、問題解決にはどのような道筋と方法があるのかを社会科学の研究と教育を通して理解し、独自に研究を深め、もって人類の文化と福祉の増進に貢献する能力を有する人材の育成を目指す。

博士前期課程では学士課程で培った能力を土台に、理論的な考察や緻密な研究方法の修得を教育の主眼とし、博士後期課程ではそれらの理論や研究方法を駆使して、自己と社会の将来像を展望しながら、高度で専門的な研究教育または職業に携わることのできる人材を育成する。

●社会学専攻

社会学研究科社会学専攻は、社会学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、社会学専攻の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

社会学の理論的・経験的業績の体系的な学修とともに、個別分野における具体的な調査技法および分析技術の習得と、各個別分野を超えた広がりのある、人と社会への伶俐な洞察力を養い、複雑化した現代社会の抱える多様な問題に対し、専門的な知識と高度な技能をもって立ち向かう人材を養成する。

【博士後期課程】

個別分野における具体的な調査技法および分析技術を彫琢・開発する一方、個別の分野を超えて、人類と文明に対する伶俐な洞察力をもち、広く社会や世界に発信しうる能力をも培いながら、社会学の研究者および教育者としてのキャリアを築くことのできる人材を養成する。

●社会福祉学専攻

社会学研究科社会福祉学専攻は、社会学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、社会福祉学専攻

の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

多様な社会問題を抱える現実社会に対応するため、社会福祉学の体系的な学修を通して研究課題を設定し、社会福祉学に関する高度で専門的かつ科学的な思考方法と知識および技術を修得すると共に、ソーシャルワークの視点から人間全般に対する深い教養と総合的な捉え方のできる人材を養成する。

【博士後期課程】

現代社会あるいは国際社会において複合的に発生する多様な形態からなる社会問題に対して、研究課題を設定し、社会福祉学に関する各専門領域の学問研究を深耕しながら社会に貢献できる自立した研究能力を養成する。

入学者の受入れに関する方針

社会学研究科は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、社会学研究科および各専攻の定める「人材養成上の目的・教育目標」に照らして、社会学研究科および各専攻の「課程修了の認定・学位授与の方針」・「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

社会学研究科の「入学者の受入れに関する方針」は、各専攻において定める。

●社会学専攻

社会学専攻の教育目標は、高度に専門的な知識と技能をもって現代社会に伏在する諸問題を発見し、探究しうる研究者の養成である。その理念をともに実現するために、出発点において入学者各位に期待する資質は以下のとおりである。

【博士前期課程・博士後期課程】

1 求める人材像

- (1) 社会学の高度な研究に取り組む上で、学士課程等（博士後期課程にあっては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、大学院において社会学のさらに専門的な理論・概念・方法を真摯に学び、共生社会の担い手である教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。
- (3) 博士後期課程にあっては、上記のほか、とくに次の資質を持つ学生の入学を期待する。

①切実な問題に関心を持つ者

知識は教えることができるが、それをどう我が物とし、使っていくかは、学ぶ者が自分自身の明確な問題関心を持つかどうかにかかっている。何よりも、専心して解くべき切実な問題関心を持つ者

②研究への強い欲求のある者

社会学全般はもちろん、各個別分野においても、これまで蓄積されてきた専門的知見は膨大である。それを体系的に習得してゆくには、多大な時間と労力を充てる必要があるだけでなく、社会学者として自立して行く意欲と気概が求められる。

③表現する気概のある者

大学院は単に既存の知識を吸収するだけの場ではない。多くの先人によって蓄積された知、すなわち他者の表現に触れる者は、そこから新たな自分の表現を生み出す権利と義務を持つ。時代の先端に立つことを恐れず、自らの研究成果を発表する気概を持つ者

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲および資質をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

(1) 入学者選抜にあたっては、「筆記試験」および「面接試験」を行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。

(2) 「筆記試験」では、学士課程等（博士後期課程にあっては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。

「面接試験」では、教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と資質を重点的に評価する。

●社会福祉学専攻

【博士前期課程・博士後期課程】

1 求める人材像

- (1) 社会福祉学の高度な研究に取り組む上で、学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、大学院において社会福祉学のさらに専門的な理論・概念・方法を真摯に学び、共生社会の担い手である教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。
- (3) 博士前期課程にあつては、上記のほか、とくに次の資質を持つ学生の入学を期待する。
 - ①社会福祉学に関する各専門領域の学問研究を体系的かつ計画的に学修する能力を持ち、人間全般に対する深い理解に立ち、専門的な実践力と思考力を備えた人材の養成に理解を示すことができる者
 - ②ソーシャルワーカーのためのリカレント教育として入学する者にあつては、実践を研究に発展させる学びに主体的に取り組める能力を持つ者
- (4) 博士後期課程にあつては、上記のほか、とくに次の資質を持つ学生の入学を期待する。
 - ①自分自身の中での問題解明が出来る者
豊富な知識を持っていることは前提であるが、高度な専門研究では、その知識が自分の生活の中で自分のものになっているかが重要であり、自分自身の研究上の立ち位置が明確な者
 - ②研究への強い意志を持つ者
社会福祉学においてこれまで蓄積されてきた専門的知見は膨大である。先行研究を修得していくには、多大な時間と労力を充てる必要がある。また、社会福祉学の研究者として、自分自身の新たな研究領域を開拓するには現実分析の努力も求められる。こうした研究への強い意欲のある者
 - ③積極的に研究成果を発表する者
大学院は単に既存の知識を吸収するだけの場ではない。多くの先人によって蓄積された知、すなわち他者の表現に触れる者は、そこから新たな自分の表現を生み出す権利と義務を持つ。時代の先端に立つことを恐れず、自らの研究成果を発表する気概を持つ者

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲および資質をもっているか否か、を評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

- (1) 入学者選抜にあつては、「筆記試験」および「面接試験」を行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。
- (2) 「筆記試験」では、学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と資質を重点的に評価する。

5 法学研究科

人材養成上の目的・教育目標

法学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、法学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

法学研究科は、本学の建学の精神である「キリスト教による人格教育」と、本学の創始者ヘボン博士の終生にわたる教育に対する“Do for Others（他者への貢献）”という基本理念に基づき、他者の立場にたつて考え、行動することに重きをおき、法学・政治学の専攻分野において、研究者または専門職業人として、高度の分析力と構想力を備え、自らのキャリアをデザインする力を有し、コミュニケーション力をもって他者を理解し、共に生きる力を身につけ、知的な素養を持つ人間であつて、優れた研究能力または高度かつ専門的な職業に従事しうる能力を備えた人材の養成を教育目標とする。

●法律学専攻

法学研究科法律学専攻は、法学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、法律学専攻の「人材養成

上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【博士後期課程】

法学・政治学の専攻分野に関する研究能力と応用能力を備え、理論・応用両面での高度な学問分野の開発に貢献できる優れた研究者または高度な専門職業人を養成する。

入学者の受入れに関する方針

法学研究科の「入学者の受入れに関する方針」は、法律学専攻において定める。

●法律学専攻

法学研究科法律学専攻は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、法律学専攻の定める「人材養成上の目的・教育目標」に照らして、法学研究科法律学専攻の「課程修了の認定・学位授与に関する方針」および「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

【博士後期課程】

1 求める人材像

- (1) 法学・政治学の高度な研究分野に取り組む上で、博士前期課程または修士課程において基礎的な能力を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解・共感し、現代社会に生起する様々な問題に関する深い関心と強い課題探求心を持ち、博士前期課程または修士課程において修得した知識基盤のうえに、さらにこれを発展させ、学術の深奥なる理論・応用を極め、自立した研究者または卓越した高度職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力および意欲をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

- (1) 入学者選抜にあたっては、「筆記試験」および「口述試験」を行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。
- (2) 「筆記試験」では、学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。「口述試験」では、教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と資質を重点的に評価する。
- (3) 本研究科の入学希望者に対しては、とくに以下の審査を実施することによって、その適格性を判定する。
 - ①修士論文、または、それに相当すると認められる論文をその分野の専門家が水準を審査し、博士論文を作成する潜在的な能力を有すると認められた者
 - ②語学試験によって、比較法・比較政治学研究が可能な能力を有しているかどうかを審査し、その能力を有すると認められた者
 - ③口述試験によって、3年間で博士論文を完成するための意欲、研究能力、勉学環境が整っていると認められた者。

6 国際学研究科

人材養成上の目的・教育目標

国際学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、国際学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

国際学研究科は、国際的視野に立ちつつ、複数の学術分野を横断的に学び、深い学識とその応用力を持つ人間を育成することを目的とする。“Do for Others(他者への貢献)”の教育理念の下、その学識と能力をもって、グローバル化した社会において、国際機関やNGO、グラスルーツ・デベロップメント（草の根的開発）の分野、市民社会組織等で、高度で専門的な職業に従事する人間や、学術のさらなる発展や後進の教育に従事する研究者・教育者を育成することを教育の目標とする。

●国際学専攻

国際学研究科国際学専攻は、国際学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、国際学専攻の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

国際的視野に立ちつつ、複数の学術分野を横断的に学び、平和研究、日本・アジア研究、グローバル社会研究のいずれかの分野において、発展的な学識と応用力を身につけ、それを生かし、国際機関や NGO、グラスルーツ・デベロップメント（草の根的開発）の分野、市民社会組織等での専門的職業人としてのキャリアを切り開ける人間を育成することを教育の目標とする。

【博士後期課程】

国際的視野に立ちつつ、平和研究、日本・アジア研究、グローバル社会研究のいずれかの分野において、複数の学術分野における横断的な深い学識と卓越した応用力を養い、それを生かし、国際機関や NGO、グラスルーツ・デベロップメント（草の根的開発）の分野、市民社会組織等での高度で専門的な職業人としてのキャリアを切り開ける人間や、学術のさらなる発展や後進の教育に従事する研究者・教育者を育成することを教育の目標とする。

入学者の受入れに関する方針

国際学研究科の「入学者の受入れに関する方針」は、国際学専攻において定める。

●国際学専攻

国際学研究科国際学専攻は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、国際学専攻の定める「人材養成上の目的・教育目標」に照らして、国際学専攻の「課程修了の認定・学位授与に関する方針」および「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

1 求める人材像

【博士前期課程・博士後期課程】

- (1) 国際学の高度な研究に取り組む上で、人文系・社会科学系のいずれかの分野で、知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、学士課程等（博士後期課程にあつては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎的な能力を身につけている。
- (2) 国際的視野に立った学びを可能とする語学力を身につけている。
- (3) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解・共感し、現代社会に生起する様々な問題に関する深い関心と強い課題探求心を持ち、大学院における国際学の高度な研究を通して、グローバル化時代における社会や人間のあり方に関する教育研究者として、または国際的な広がりを持つ環境ないし組織における専門的職業人として、社会に貢献する意欲と可能性をもっている。

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、語学力、意欲および資質をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

【博士前期課程】

- (1) 入学者選抜にあつては、「筆記試験」および「面接試験」、あるいは、「面接試験」のみを行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。
- (2) 「筆記試験」では、人文系、社会科学系のいずれかの分野で、学士課程等で修得すべき基礎学力および国際的視野に立った学びを可能にする語学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、社会での実践、卒業論文やそれまでの研究活動の記録などを確認し、研究目的が本専攻に適合的であるか否か、教育研究者または専門的職業人として社会に貢献する意欲と可能性の有無を重点的に評価する。

【博士後期課程】

- (1) 入学者選抜にあつては、「筆記試験」および「面接試験」を行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。
- (2) 「筆記試験」では、人文系、社会科学系のいずれかの分野で、博士前期課程または修士課程で修得すべき基礎学力および国際的視野に立った学びを可能にする語学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、修士論文、志願者調書を基に学力を確認するとともに、研究目的が本専攻に適合的であるか否か、教育研究

者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性の有無を重点的に評価する。

7 心理学研究科

人材養成上の目的・教育目標

心理学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、心理学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

心理学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」は、「ここを探り、人を支える」という教育理念の下、心理学を基礎として社会のさまざまな場面で活躍できる高度な能力を持つ人材を育成することである。修士課程または博士前期課程では、幅広い心理学的素養と学識を基盤にしなが、社会の様々な支援や研究の場で活躍できる高度専門職業人の養成、博士後期課程では、個人への支援および地域社会への支援を実行できる実践家・高度専門職業人の養成、心理学の基礎的研究、実践的研究、および両者を統合した研究を独立して行う力を持つ大学等の教員・研究者の養成を目的とする。

●心理学専攻

心理学研究科心理学専攻は、心理学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、心理学専攻の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【博士前期課程】

幅広い心理学的素養を基盤にし、社会の様々な支援や研究の場で活躍できる人材の養成、または後期課程に進み研究職を目指すために必要な研究能力を持つ人材の養成を目的とする。

【博士後期課程】

個人への支援および地域社会への支援を実行できる実践家の指導者の養成および、基礎的研究、実践的研究、さらに両者を統合した研究を独立して行う力を持つ研究者の養成を目的とする。

●教育発達学専攻

心理学研究科教育発達学専攻は、心理学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、教育発達学専攻の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【修士課程】

幅広い心理学的素養を基盤とし、教育発達学の専門的知識・技能を生かして研究職を目指すために必要な研究能力をもつ人材、および多様な支援の場で活躍できる高度専門職業人の養成を目的とする。

入学者の受入れに関する方針

心理学研究科は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、心理学研究科および各専攻の定める「人材養成上の目的・教育目標」に照らして、心理学研究科および各専攻の「課程修了の認定・学位授与の方針」・「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

心理学研究科の「入学者の受入れに関する方針」は、各専攻において定める。

●心理学専攻

【博士前期課程・博士後期課程】

1 求める人材像

- (1) 心理学の高度な研究に取り組む上で、学士課程等（博士後期課程にあっては博士前期課程または修士課程）で修得すべき基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、大学院における心理学の高度な研究を通して共生社会の担い手である教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。
- (3) 人のところに興味を抱き、心理学の専門分野において研究や実践を推し進め、職業においてその専門性を発揮する意欲およびそのための基礎的な資質を有している。

(4) 学士課程等(博士後期課程にあつては博士前期課程)において心理学の基礎を習得し、より高度な心理学の専門性に興味と関心を抱き、心理学の理論や実践を身につけた研究者や実践家になる強い意志を有している。

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲および資質をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

(1) 入学者選抜にあたっては、「筆記試験」および「面接試験」、あるいは、「面接試験」のみを行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。

(2) 「筆記試験」では、学士課程等(博士後期課程にあつては博士前期課程)で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と資質を重点的に評価する。

●教育発達学専攻

【修士課程】

1 求める人材像

(1) 教育発達学の高度な研究に取り組む上で、学士課程等で修得すべき基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を身につけている。

(2) 本学の教育理念である“Do for Others(他者への貢献)”を理解・共感し、現代社会に生起する様々な問題への鋭い洞察力をもち、大学院における教育発達学の高度な研究を通して共生社会の担い手である教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性をもっている。

(3) 人のこころに興味を抱き、人の生涯発達に子どもを位置づけ、行動と学習過程の支援を中心とした教育発達学の専門分野において研究や実践を推し進め、職業においてその専門性をきわめ、発揮したいと考えている。

(4) 学士課程において教育発達学の基礎、およびその隣接領域を修め、より高度な専門性に興味と関心を抱き、教育発達学の理論や実践を身につけた研究者や実践家になることを希望している。

(5) 家庭、地域といった場における対人関係の相違や、乳幼児期から児童期・思春期までの対人関係の発達の变化や特徴を踏まえて、多様な人々との共生をめぐる専門性を身につけ、研究や実践に生かしたいと考えている。

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲および資質をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

(1) 入学者選抜にあたっては、「筆記試験」および「面接試験」、あるいは、「面接試験」のみを行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。

(2) 「筆記試験」では、学士課程等で修得すべき基礎学力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、教育研究者または高度専門職業人として社会に貢献する意欲と資質を重点的に評価する。

8 法と経営学研究科

人材養成上の目的・教育目標

法と経営学研究科は、明治学院大学大学院の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、法と経営学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

「広い視野を持って、社会の組織(企業やNPO、研究機関も含まれる。)で指導的役割を果たせる人材」、特に「経営学と法学とを身につけ、ビジネスをトータルに推進できる人材」を、従来の学部枠に囚われずに育成することを目標とし、企業経営者、中小企業の事業承継者、それを支える専門家(税理士など)および大学院で習得した専門知識や分析力を活かせる企業内スペシャリストの輩出を目指す。

●法と経営学専攻

法と経営学研究科法と経営学専攻は、法と経営学研究科の「人材養成上の目的・教育目標」に基づき、法と経営学専攻の「人材養成上の目的・教育目標」を次のとおり定める。

【修士課程】

法的知識を身につけ、法律家を活用できる経営者または組織のリーダー（法学を身につけた経営者・エコノミスト）や経済・経営学の知識を身につけ、経営者に対してスペシャリストとしての確かな提案ができる問題解決者（経済・経営のセンスを身につけた法務責任者・法律家）の養成

入学者の受入れに関する方針

法と経営学研究科の「入学者の受入れに関する方針」は、法と経営学専攻において定める。

●法と経営学専攻

法と経営学専攻は、明治学院大学大学院の「入学者の受入れに関する方針」に基づき、法と経営学専攻の定める「人材育成上の目的・教育目標」に照らして、法と経営学専攻の「課程修了の認定・学位授与の方針」および「教育課程の編成および実施に関する方針」に沿って、次のとおり「入学者の受入れに関する方針」を定める。

【修士課程】

1 求める人材像

- (1) 大学院における法と経営学の高度な研究に取り組む上で、知識・技能、思考力・判断力・表現力等において、学士課程等で修得すべき基礎的な能力を身につけている。
- (2) 本学の教育理念である“Do for Others（他者への貢献）”を理解・共感し、現代社会に生起する様々な問題に関する深い関心と強い課題探求心を持ち、大学院における法と経営学の高度な研究を通して、社会に貢献する意欲と可能性をもっている。
- (3) 本専攻がとくに求める人材は、次に掲げる能力をもつ人である。

本専攻は、「広い視野を持って、社会の組織（企業やNPO、研究機関も含まれる）で指導的役割を果たせる人材」、特に、「経営学と法学とを身につけ、リスクマネジメントを実践できる人材」を、従来の学部の枠に囚われずに育成することを目標とし、企業経営者、中小企業の事業承継者、それを支える専門家（税理士など）、および大学院で習得した専門知識や分析力を活かせる企業内スペシャリストの輩出を目指している。

この目的を達成するため、これらの業種に必要な能力は次のとおりである。

- ①社会情勢の把握力（データを収集し、定量分析し、総合する能力）
- ②柔軟な発想力（過去、現在、未来を踏まえた発想力）
- ③コミュニケーション能力（ネットワーク能力）
- ④倫理観（利益相反を克服し、公共の利益を尊重する能力）

2 入学者選抜の基本的方針

上記「求める人材像」に掲げる基礎的な能力、意欲、特性および可能性をもっているか否かを評価する。

3 入学者選抜の種類と評価方法

- (1) 入学者選抜にあたっては、「筆記試験」および「面接試験」を行い、「入学者選抜の基本方針」に則って評価する。
- (2) 「筆記試験」では、学士課程等で修得すべき基礎学力および柔軟な発想力の有無を重点的に評価する。「面接試験」では、研究目的が本専攻に適合的であるか否か、また高度専門職業人として社会に貢献する意欲と可能性の有無を重点的に評価する。

共通事項

■募集人員

研究科	専攻	コース	修士課程・ 博士前期課程	博士後期課程
文学研究科	英文学専攻		10名	2名
	フランス文学専攻		8名	3名
	芸術学専攻		10名	5名
経済学研究科	経済学専攻		10名	3名
	経営学専攻			3名
社会学研究科	社会学専攻		10名	2名
	社会福祉学専攻		10名	3名
法学研究科	法律学専攻			5名
国際学研究科	国際学専攻		10名	2名
心理学研究科	心理学専攻	臨床心理学コース	15名	4名
		心理学コース	5名	
	教育発達学専攻		10名	
法と経営学研究科	法と経営学専攻		20名	

▶受験生の個人情報の取り扱いについて

明治学院大学では、出願時に提出された書類（志願票・調査書・封筒など）に記載された個人情報は、「学校法人明治学院個人情報保護方針」にそって厳重に管理します。

出願を受付けてから、合格者を確定するまでに得た個人情報は、入学試験および合格発表から本学学生としての学籍作成作業に使用するとともに、本学が必要と判断する入試情報として扱うデータの作成は外部業者に委託する場合がありますが、委託した業務内容を超える個人情報の利用は認めていません。

「学校法人明治学院個人情報保護方針」については、以下のサイトから参照してください。

<https://www.meijigakuin.ac.jp/general/privacy.html>

▶身体に障がいがあり、受験時または入学後特別な配慮を希望する方は、出願書類受付期間前に、志願者氏名、連絡先電話番号、受験する入試制度、志望専攻名、障がいの内容、希望する配慮を大学院事務室までご連絡ください。

大学院事務室 TEL 03-5421-5180 E-mail: dgakuin@mguad.meijigakuin.ac.jp

▶入試における新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染者への注意について

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、麻疹（はしか）、風疹、水痘（みずぼうそう）等に感染されている方は、「学校保健安全法」の「学校において予防すべき感染症」に指定されているため、試験当日感染している場合は、受験することができません。

発熱・咳等の症状がある場合は、あらかじめ医療機関で受診してください。また本学では入学試験の追試験・再試験は行いませんので、普段から手洗いやうがい、予防接種などで感染予防に努め、ご自身の健康には十分留意してください。

■入試制度名と略称

入学試験制度名	略称方式名
一般入学試験	A 方式
社会人入学試験	B 方式
社会人経験者入学試験	
推薦入学試験	C 方式
飛び入学試験	D 方式
外国人留学生入学試験	E 方式
特別入学試験	F 方式

- ▶ 同じ入学試験制度でも、専攻によって出願資格が異なる場合があるため注意すること。
- ▶ 同じ入試季において複数の選抜方法がある場合には、1つの方式のみ選択可能である。
- ▶ 一度入学し、修了した者および在籍者は同一専攻に出願することができない。
なお、退学した者は同一専攻に出願することができない場合があるので個別に大学院事務室まで問い合わせること。

■入試日程

(夏季・秋季試験)

研究科	専攻	課程	専攻記号	入試方式	出願書類受付期間 ^{*1}	試験日	合格発表日	
文学	英文学	博士前期	LEM	A・C	8/29(月)～9/6(火)	10/1(土)	10/5(水)	
経済学	経済学	博士前期	EEM	A・B・C・E				
社会学	社会学	博士前期	SGM	C				
	社会福祉学	博士前期	SWM	C				
国際学	国際学 ^{*2}	博士前期	KSM	A・B・E		9/21(水)	9/22(木)	
心理学	心理学	博士前期	臨床心理学コース	PSC	F	6/17(金)～6/21(火)	7/9(土)	7/13(水)
			心理学コース	PSP	F	8/17(水)～8/23(火)	9/2(金)	9/5(月)
			臨床心理学コース	PSC	A	7/15(金)～7/26(火)	一次[筆記] 9/2(金)	9/5(月)
			心理学コース	PSP	A		二次[口述] 9/9(金)	9/14(水)
	教育発達学	修士	PEM	F	6/27(月)～7/1(金)	7/27(水)	7/29(金)	
法と経営学	法と経営学	修士	BLM	A・B	8/29(月)～9/6(火)	10/1(土)	10/5(水)	
				A・B・D				

※1 出願は郵送に限る。出願書類受付期間最終日の消印有効（ただし、海外からの出願の場合、必着）。

※2 国際学研究科の試験は横浜校舎で実施する。

▶ 国費外国人留学生の入学試験については、秋季日程と同一日に行う。詳細は別途連絡する。

(春季試験)

研究科	専攻	課程	専攻記号	入試方式	出願書類受付期間 ^{※1}	試験日	合格発表日
文学	英文学	博士前期	LEM	A・C	1/10(火)~1/20(金)	2/16(木)	2/20(月)
		博士後期	LED	A			
	フランス文学	博士前期	LFM	A			
		博士後期	LFD	A			
	芸術学	博士前期	LAM	A			
		博士後期	LAD	A			
経済学	経済学	博士前期	EEM	A・B・C・D・E			
		博士後期	EED	A			
	経営学	博士後期	EBD	A・C			
社会学	社会学	博士前期	SGM	A・B・C			
		博士後期	SGD	A			
	社会福祉学	博士前期	SWM	A・B・C			
		博士後期	SWD	A・B・C			
法学	法律学	博士後期	JUD	A・C	2/16(木)	2/20(月)	
国際学	国際学 ^{※2}	博士前期	KSM	A・B・C・E	2/14(火)	2/15(水)	
		博士後期	KSD	A			
心理学	心理学	臨床心理学 コース	博士前期	PSC	A	一次[筆記] 2/9(木)	2/10(金)
						二次[口述] 2/14(火)	2/15(水)
	心理学	心理学 コース	博士前期	PSP	A	2/16(木)	2/20(月)
	心理学	博士後期	PSD	A・F			
法と 経営学	法と経営学	修士	BLM	A・B・D・E	2/18(土)	2/22(水)	

※1 出願は郵送に限る。出願書類受付期間最終日の消印有効。海外からの出願はできない。

※2 国際学研究科の試験は横浜校舎で実施する。

▶国費外国人留学生の入学試験については、春季日程と同日に行う。詳細は別途連絡する。

■合格発表

合格発表日の15:00に、本学 Web サイトに合格者の受験番号を掲載します。

合格者には、大学院事務室より合格証および入学手続き書類を郵送します。電話やメール等による可否の問い合わせには一切応じません。

※心理学専攻臨床心理学コース春季入試の一次 [筆記] は合格発表日の18:00頃、二次 [口述] は17:00頃に本学 Web サイトに掲載します。

■入学検定料

■ 35,000 円

海外からの出願の場合は、納入方法が異なります。必ず事前に電話またはメールで「裏表紙参照」大学院事務室にお問い合わせください。

納入方法

「全専攻共通」の中にある「検定料振込用紙」を印刷し、あらかじめ必要事項を記入して、銀行等の金融機関窓口から「電信扱い」で振込んでください。

※印刷する際は必ず A4 判の白い普通紙を使用し、拡大や縮小などを行わないよう注意してください。極端な汚れや印字のかすれ等があると銀行等の金融機関窓口で受け付けられない可能性があります。厚すぎたり薄すぎたりする紙も同様です。

※整理番号欄横の専攻記号欄については、受験する専攻の専攻記号（アルファベット 3 ケタ）を 2～3 ページで確認の上、記入してください。

※三菱 UFJ 銀行の本・支店から振込む場合、振込手数料はかかりません。

※ATM・インターネットによる振込は、原則受理しません。

振込後、A 票「振込受付証明書」は出願書類として本学に提出、B 票「検定料領収書」は本人控として保管してください。

返金請求について

納入された入学検定料は返金しません。ただし、①～④のいずれかに該当し、下記の手続きを完了した場合に限り、入学検定料を返金します。

- ① 入学検定料を銀行等の金融機関窓口から納入したが、出願書類を提出しなかった。
- ② 入学検定料を納入し出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
- ③ 入学検定料を納入し出願書類を提出したが、誤って過剰に納入した。
- ④ 入学試験が 2 日にわたる場合で、初日の試験を受験し合格しなかった。(入学検定料の内 15,000 円を返金)

上記①の場合、「入学検定料返金依頼書」を下記の請求先へ電話で 2023 年 3 月 10 日(金)16:00 までに請求してください。到着後は必要事項をもれなく記入の上、B 票「検定料領収書」(コピー可)を同封し、下記の送付先へ「簡易書留」扱いで郵送してください。

上記②③④の場合、本学より該当する方にあらかじめご連絡の上、「入学検定料返金依頼書」を送付します。ただし、学内処理の都合上、入学検定料返金依頼書の発送には本学の連絡から 1 ヶ月程度要する場合があります。到着後は必要事項をもれなく記入し、下記の送付先へ「簡易書留」扱いで郵送してください。

なお、①～④いずれの場合も、2023 年 3 月 31 日(金)到着分まで受け付けます。簡易書留以外の方法での提出(持参など)は一切受け付けません。

返金は書類到着後、請求された方の出願状況や入学検定料納入の有無等を確認した後になりますので、1 ヶ月程度かかる場合があります。

入学検定料返金依頼書の請求先および送付先

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

明治学院大学 大学院事務室

TEL: 03-5421-5180 FAX: 03-5421-5239

▶ 2023 年度入学試験における被災者特別措置(入学検定料免除)の申請について

明治学院大学では、被災地から本学の受験を希望する皆様に対し経済的な支援を図るため、入学検定料免除の特別措置を行います。入学検定料免除についての詳細および申請に関しては、本学 Web サイトの「入試情報」をご覧ください。入学検定料免除を希望される方は、記載内容をよく読み、必要書類を送付してください。該当者は、入学検定料の納入は必要ありません。検定料納入後であっても、申請受理後、返金します。

■試験場

文学研究科・経済学研究科・社会学研究科・法学研究科・心理学研究科・法と経営学研究科

白金校舎：東京都港区白金台 1-2-37

国際学研究科

横浜校舎：神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 1518

■受験票について

試験日の1週間前を目安に送付します。万が一、試験日の3日前までに届かない場合は、必ず大学院事務室までご連絡ください。

■受験日当日の注意

- ①試験場は受験票の案内および入学試験要項 11～12 ページのキャンパスガイドを参照してください。
- ②試験開始 15 分前には指定された試験場に入室してください。
- ③最初の試験科目開始後 30 分を経過すると、試験場に入ることはできません。ただし、天災・事故等により、交通機関が遅れた場合には別途指示します。
- ④本学最寄駅周辺から本学に至る途中で、大学関係者を装い個人情報の引出しを目的に受験生を呼び止めるものがあります。これらは本学とは何ら関係がありません。本学関係者がキャンパスの外で住所や電話番号を聞くことは、絶対にありません。万が一、こうした呼びかけ等に応じてトラブルが発生したとしても、一切責任は負いかねますので予めご承知おきください。
- ⑤スマートフォン等の音の出る機器は試験場内では電源を切ってください。時計として机の上に置くこともできません。

■入学試験過去問題

大学院入学試験過去問題は、過去1年分のみ大学院事務室窓口および大学院 Web サイトで閲覧することができます。また、貸出は白金校舎の大学院事務室限定で行います。ご利用の際は、身分証明書（学生証、運転免許証等）をご持参ください。※著作権の関係で一部掲載されていない問題もあります。

■日本語の学力について（外国人出願者の追加書類）

春季試験受験時にはレベル N1 の合格が記載された「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出する必要があります（コピー可）。ただし、出願時点で N1 合格の証明書の提出が間に合わない場合は、第2回日本語能力試験（2022年12月4日実施）で N1 を受験したことを示す受験票のコピー、もしくはインターネット上の合否結果を提出し、春季試験前日 16:00 までに合格が記載された証明書のコピーを追加で提出してください。受験票コピーを提出したが N1 不合格だった場合や、春季試験前日 16:00 までに証明書コピーの提出が間に合わない場合は受験できません。

■教員免許状の取得について

入学後、専修免許状の取得を考えている方は、履修登録前に大学院事務室にてご相談ください。なお、新たに教職履修を始める方は、将来教職に就く意思が強くないと大学院での研究活動との両立は非常に困難なので、事前に充分検討してください（教育発達学専攻は別途ご相談ください）。一種免許状の取得のため、学部の科目等履修生を希望する場合は 2023 年 2 月中旬頃に大学院事務室へお問い合わせください。学部開講の指定科目を履修する場合、研究科委員会の承認が必要となります。

■入学手続方法

1. 振込期限日までに学納金等を所定の振込用紙で振込む。
2. 指定された方法で手続書類一式を提出期限日までに本学に提出する。
※入試時期・専攻により仮入学の有無、振込期限日、手続期限日が違うので注意してください。

夏季入学試験（本入学手続のみ）

修士課程・博士前期課程：心理学・教育発達学
本入学手続 学納金振込期限日：2022年11月2日(水) 書類提出期限日：2022年11月7日(月) 郵送必着

秋季入学試験

(本入学手続または仮入学手続)

(本入学手続のみ)

修士課程・博士前期課程： 英文学（推薦入学試験を除く）・経済学（推薦入学試験を除く）・国際学・心理学・教育発達学・法と経営学（飛び入学試験を除く）	修士課程・博士前期課程： 英文学（推薦入学試験のみ）・経済学（推薦入学試験のみ）・社会学・社会福祉学・法と経営学（飛び入学試験のみ）
本入学手続 学納金振込期限日：2022年11月2日(水) 書類提出期限日：2022年11月7日(月) 郵送必着	本入学手続 学納金振込期限日：2022年11月2日(水) 書類提出期限日：2022年11月7日(月) 郵送必着
仮入学手続⇒本入学手続 仮入学申込金（仮入学金）振込期限日： 2022年11月2日(水) 仮入学申込書（ハガキ）提出期限日： 2022年11月7日(月) 郵送必着 学納金残金振込期限日：2023年1月27日(金) 書類提出期限日：2023年1月30日(月) 郵送必着	

春季入学試験（本入学手続のみ）

修士課程・博士前期課程・博士後期課程：全専攻
本入学手続 学納金振込期限日：2023年3月1日(水) 書類提出期限日：2023年3月3日(金) 郵送必着

- ▶ 入学手続の詳細は、合格者へ送付する書類の中で指示しますので、その指示に従って所定の手続きを完了してください。
- ▶ 提出した手続書類および一旦納入した学納金等のうち入学金については、事情のいかんにかかわらず返金しません。ただし、2023年3月31日(金)までに入学辞退を申し出た場合に限り、入学金以外の学納金等を返金します。
詳細は入学手続を完了した方に送付する案内をご確認ください。
- ▶ 納入済みの仮入学申込金（仮入学金）は、本入学手続の際に入学金に振替えられます。
- ▶ 入学手続きを完了した方には「入学式のご案内」等を3月中旬頃に郵送します。夏季入学試験・秋季入学試験の手続者の方はそれまでしばらくお待ちください。

■学納金等

重要

下記は、2022年4月入学者の納入金額です。2023年度学納金等の金額は11月上旬に確定します。正式な金額は本学経理部ホームページで11月上旬以降に公表しますので、必ずご確認ください。

本学経理部ホームページ <https://www.meijigakuin.ac.jp/accounting/>

2023年度入学者学納金等（予定）

（単位 円）

	博士前期課程 修士課程	社会福祉学専攻博士前期課程 3年制コース	博士後期課程	備考
入学金 (仮入学金を含む)	150,000	150,000	150,000	入学時のみ 本学学部・博士前期・修士・専 門職学位課程出身者は免除
※授業料	510,000	340,000	510,000	
※施設費	100,000	100,000	100,000	
※設備費	20,000	20,000	20,000	
※教育充実維持費	16,000	16,000	16,000	
学生傷害保険料	1,750	2,600	2,600	
初年度納入総額	797,750	628,600	798,600	
入学時納入額	474,750	390,600	475,600	

上記の金額の他、専攻によって次の金額が加算されます。

	※実験実習料	※学会費
フランス文学専攻	—	200 (春のみ)
社会学専攻	—	1,500
社会福祉学専攻	—	1,500
法律学専攻	—	3,000
国際学専攻	—	3,000
心理学専攻（博士前期課程） 臨床心理学コース	150,000	2,000
心理学コース	80,000	2,000
教育発達学専攻	80,000	2,000
心理学専攻（博士後期課程）	—	2,000

上記の表の金額は年額です。※は春学期と秋学期での分納となります。

◆秋学期分（初年度納入総額と入学時納入額の差額）の納入期限は入学後の10月末です。
納入用紙は8月上旬以降に発送予定です。

◆最終年次に、校友会終身会費として40,000円を代理徴収します。（既に納入済みの者は除く）

◆在学中、学納金等に変更があった場合は、新たに定められた金額によるものとします。

■提携教育ローン

明治学院大学大学院の新入生・在学生を対象とする教育ローンとして、みずほ銀行および三菱UFJフィナンシャルグループの株式会社ジャックスと提携しています。ご利用を検討される場合には、各問い合わせ先に学校名をお申し出の上、直接お問い合わせください。

【提携教育ローンの問い合わせ先】

- みずほ銀行 五反田支店
電話番号：03-5487-5990
受付時間：平日9:00～17:00
- 株式会社ジャックス コンシューマードesk
電話番号：0120-338-817
受付時間：10:00～19:00（平日・土日祝日）

【提携外教育ローン】

本学と提携先とは別に国の教育ローン制度もあります。
詳しくは、下記URLをご参照ください。

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>
（日本政策金融公庫）

【注意事項】

1. 教育ローンをご利用の場合、手続締切日までに入金が確認できませんと入学が認められません。ご利用を希望される方は、受験に先立ち、お早めに準備を進めてください。
2. 大学提携ローンにつき、本入学手続および仮入学手続から本入学への手続の方が対象です。仮入学手続による入学金のみのご利用はできません。
3. 審査により、提携教育ローンのご利用が認められない場合があります。予めご了承ください。

重要 「明治学院大学大学院提携教育ローン」利用にあたりご了解いただきたいこと

この提携教育ローンを利用する場合、「明治学院大学大学院利子補給奨学金」での利子補給の計算及び確認のため、利子補給奨学金受給の意思の有無にかかわらず、借入情報が提携先より大学に連絡されます。このことをご了承くださいの上での借入となります。

■奨学金・奨励金

◆ 大学院独自の奨学金・奨励金

奨学金名	種別	金額	対象者
明治学院大学出身入学者支援奨学金	給付	初年度の年間授業料の30%	明治学院大学出身の博士前期課程および修士課程入学者で学業成績・人物ともに優秀な者
明治学院大学大学院成績優秀者特別奨学金	給付	年間授業料の30%	博士前期課程2年次および修士課程2年次に在籍の者
明治学院大学大学院研究者養成奨学金	給付	年間授業料の30%	博士後期課程の在籍者
明治学院大学大学院利子補給奨学金	給付	対象期間に支払った利子金額（年間20万円を上限）	本学と金融機関との提携教育ローンおよび国の教育ローン（日本政策金融公庫）を借用した者
明治学院大学大学院国外留学生奨学金	給付	15万円	国外認定留学を認可された大学院生。前期課程または修士課程在学年次2年以内の者、博士後期課程在学年次3年以内の者
小野國嗣基金奨学金	給付	年による ※14万円（2021年度実績）	将来社会福祉および心理学関連領域に従事することを志している者
院生学会発表奨励金	給付	1万円	「日本学術会議」から「日本学術会議協力学術研究団体」として指定を受けた学術研究団体において発表した者
文学研究科学生海外研究奨励金	給付	アジア圏：10万円 欧米圏、その他：20万円 オンライン：5万円以内（実費支給）	文学研究科博士後期課程の在籍者
経済学研究科学生研究奨励金	給付	国内：5万円以内（実費支給） アジア・オセアニア圏：10万円 欧米・アフリカ圏：20万円	経済学研究科博士前期課程および博士後期課程の在籍者
社会学研究科学生研究奨励金	給付	第1種：25万円 第2種：15万円	第1種奨励金：博士前期課程の新入生 第2種奨励金：博士前期課程の在籍者、博士後期課程の新入生および在籍者
社会学研究科学生の海外学会発表奨励金	給付	アジア圏：10万円 欧米圏、その他：20万円	社会学研究科博士後期課程の在籍者
法学研究科学生研究奨励金	給付	30万円	法学研究科法律学専攻博士後期課程の新入生および在籍者
国際学研究科学生研究奨励金	給付	国内：3万円 アジア・オセアニア圏：10万円 欧米・アフリカ圏：20万円	国際学研究科博士前期課程および博士後期課程在籍者
心理学研究科学生研究奨励金	給付	国内・オンライン：2万円以内 アジア・オセアニア圏：10万円以内 欧米・アフリカ圏：20万円以内	心理学研究科の在籍者で、海外での研究発表を行う者
法と経営学研究科奨励金	給付	10万円以内	法と経営学研究科の在籍者で、海外での研究発表を行う者

◆ 日本学生支援機構奨学金（貸与）

（2022年度奨学金案内より抜粋）月額

奨学金の種類	修士課程・博士前期課程	博士後期課程	利率
第一種	50,000円または88,000円	80,000円または122,000円	無利子
第二種	50,000・80,000・100,000・130,000・150,000円から選択		有利子

■入学資格審査

学校教育法施行規則第155条第1項第8号（修士課程・博士前期課程）および学校教育法施行規則第156条第1項第7号（博士後期課程）に基づく2023年度個別の入学資格審査を受ける方は、下記の表に示す書類を入学資格審査受付締切日までに大学院事務室宛に郵送してください。簡易書留便に限ります。

入学資格審査が必要な方

各専攻出願資格にある

- 「本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者」（修士課程・博士前期課程）
- 「本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者」（博士後期課程）

に該当する可能性のある方です。

修士課程・博士前期課程の場合、4年制の大学を卒業（見込）の方は、不要です。博士後期課程の場合、大学院を修了（見込）の方は、不要です。その他ご不明な点はお問い合わせください。

※入学資格審査はあくまで出願の可否の審査判定であって試験合格を意味するものではありません。入学資格審査の結果が通知されるまでは入学検定料を振込む必要はありません。なお、提出された書類は返却いたしません。また、結果の問い合わせには応じられません。

※入学資格審査で提出いただいた書類が出願時の提出書類と重複する場合は、そのまま出願書類としてあつかいますので出願時の再提出は不要です。

入学資格審査の送付先

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

明治学院大学 大学院事務室

TEL：03-5421-5180 FAX：03-5421-5239

秋季入学資格審査日程

受付締切：2022年6月24日（金）郵送必着

審査結果：2022年7月15日（金）までに発送

	専攻	提出書類（専攻別）※指定がなければ書式自由	提出書類（共通）
修士課程・博士前期課程	英文学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③志望理由書（2,000字以内）	①入学資格審査願 ②外国人出願者は、レベル「N1」の合格が記載された「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」コピー可
	経済学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③最終卒業校の卒業（見込）証明書 ④志望理由書（2,000字以内） ⑤研究テーマと指導希望教員名	
	国際学	出願書類一式（検定料振込受付証明書除く）	
	心理学 教育発達学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の卒業（見込）証明書および成績証明書 ③職歴・実務歴調書（臨床心理学コースのみ、所定用紙） 職歴調書（教育発達学専攻のみ、所定用紙） ④研究・研修歴調書（心理学コースは不要、所定用紙） ⑤研究計画書（所定用紙） ⑥志望の動機（教育発達学専攻のみ、所定用紙）	
	法と経営学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③最終卒業校の卒業（見込）証明書 ④志望理由書（2,000字以内）	

春季入学資格審査日程

受付締切：2022年11月25日(金)郵送必着

審査結果：2022年12月16日(金)までに発送

	専攻	提出書類（専攻別）※指定がなければ書式自由	提出書類（共通）
修士課程・博士前期課程	英文学 フランス文学 芸術学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③志望理由書（2,000字以内）	①入学資格審査願 ②外国人出願者は、レベル「N1」の合格が記載された「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」コピー可
	経済学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③最終卒業校の卒業（見込）証明書 ④志望理由書（2,000字以内） ⑤研究テーマと指導希望教員名	
	社会学 社会福祉学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の卒業（見込）証明書 ③業績一覧及び業績のコピー ④研究テーマと指導希望教員名	
	国際学	出願書類一式（検定料振込受付証明書除く）	
	心理学 教育発達学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の卒業（見込）証明書および成績証明書 ③職歴・実務歴調書（臨床心理学コースのみ、所定用紙） 職歴調書（教育発達学専攻のみ、所定用紙） ④研究・研修歴調書（心理学コースは不要、所定用紙） ⑤研究計画書（所定用紙） ⑥志望の動機（教育発達学専攻のみ）	
	法と経営学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③最終卒業校の卒業（見込）証明書 ④志望理由書（2,000字以内）	
博士後期課程	英文学 フランス文学 芸術学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③志望理由書（2,000字以内） ④修士論文に相当するもの	①入学資格審査願 ②外国人出願者は、レベル「N1」の合格が記載された「日本語能力認定書」もしくは「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」コピー可
	経済学 経営学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の成績証明書 ③最終卒業校の卒業（見込）証明書 ④志望理由書（2,000字以内） ⑤研究テーマと指導希望教員名 ⑥業績一覧と業績コピー	
	社会学 社会福祉学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の卒業（見込）証明書 ③業績一覧及び業績のコピー ④研究テーマと指導希望教員名	
	法律学	申請者が本学大学院法学研究科に対して大学院修士課程（博士前期課程）修了と同等以上の学力を有すること、かつ、法学・政治学の専攻分野に関する高度な研究能力と応用能力を培う機会を有したことを示すのに適切であると判断した下記の書類 (1) 学習歴に基づく申請 ①卒業（見込）証明書、成績証明書 ②学校が発行した教育課程の詳細が分かる書類 (2) 社会での実務に基づく申請 ①本人による3,000～4,000字の説明文 ②本人以外が記載した実務経験を証明できる書類 ※証明書を除きコピーも可。所定の書類が完備されていない場合は受理しません。郵送時に同封されなかった追加書類は一切提出書類として扱いません。	
	国際学	出願書類一式（検定料振込受付証明書除く）	
	心理学	①履歴書（市販用紙） ②最終卒業校の卒業（見込）証明書および成績証明書 ③職歴・実務歴調書 ④研究・研修歴調書 ⑤志望理由書 ⑥研究計画書（所定用紙）	

■キャンパスガイド

白金キャンパス

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

各駅からのアクセス

品川駅から

[JR山手線・京浜東北線・東海道線・上野東京ライン・横須賀線・東海道新幹線 / 京浜急行線]
高輪口より都営バス「目黒駅前」行きに乗り、「明治学院前」下車(乗車約6分)
※徒歩の場合は約17分

目黒駅から

[JR山手線 / 東急目黒線 / 東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]
東口より都営バス「大井競馬場前」行きに乗り、「明治学院前」下車(乗車約6分)
※徒歩の場合は約20分

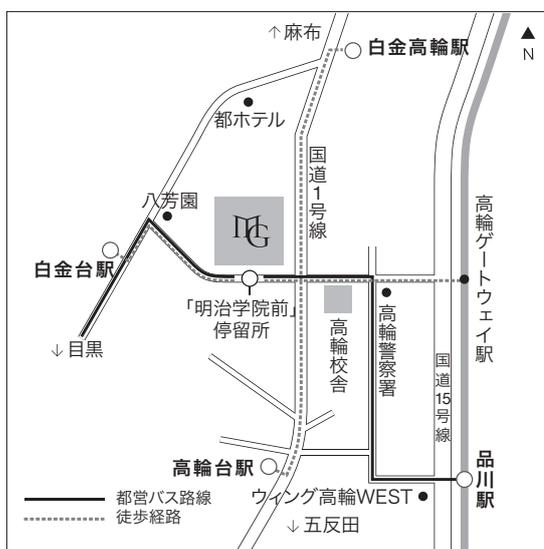
高輪ゲートウェイ駅から
[JR山手線 / 京浜東北線]
徒歩約13分

白金台駅から
[東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]
2番出口(白金高輪側 / エレベーター有)
より徒歩約7分

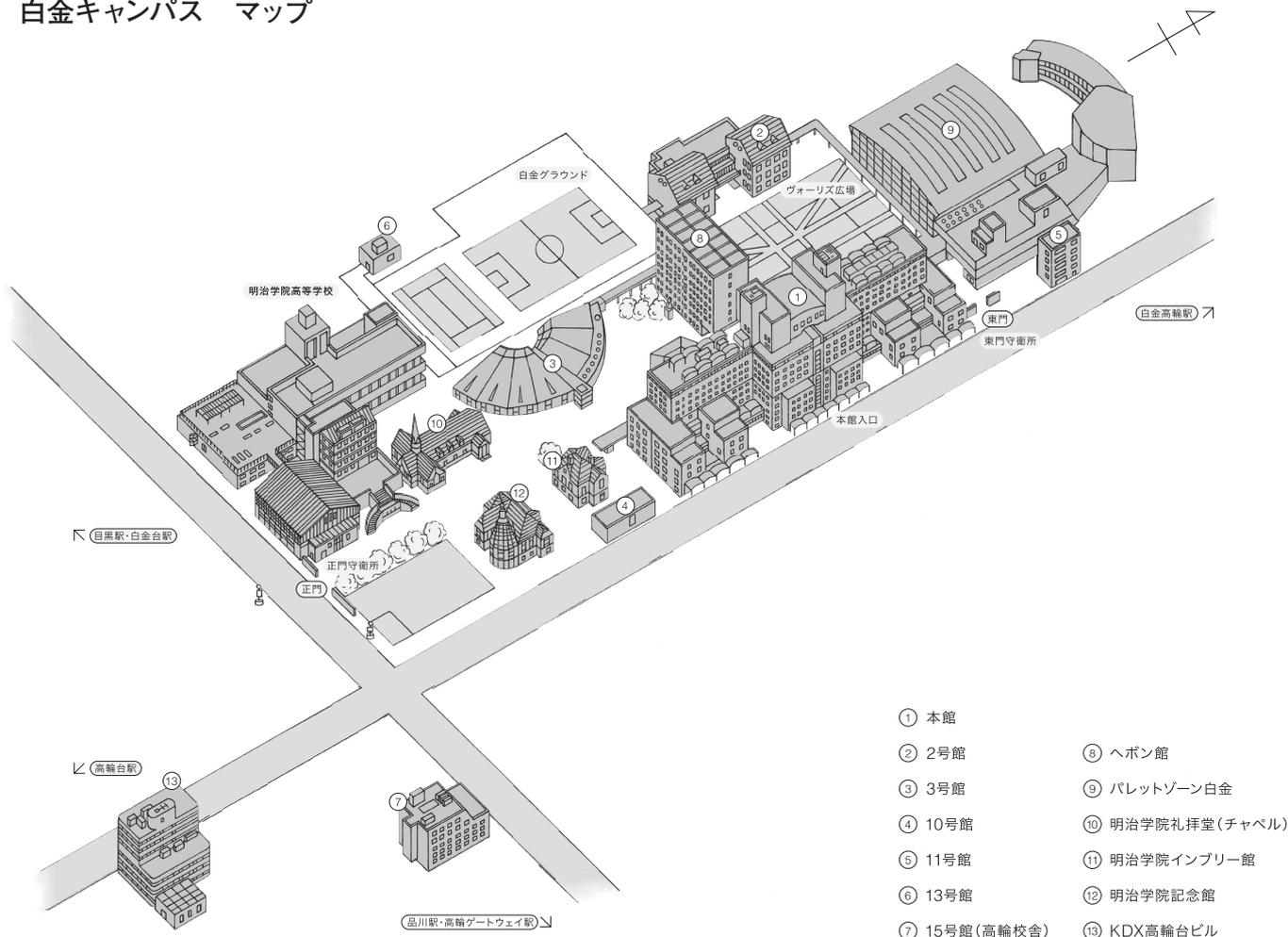
白金高輪駅から
[東京メトロ南北線 / 都営地下鉄三田線]
1番出口(目黒側 / エレベーター有)
より徒歩約7分

高輪台駅から
[都営地下鉄浅草線]
A2出口より徒歩約7分

※最寄駅から徒歩でお越しになる場合も必ず正門から入構してください
※自家用車、タクシーのキャンパス内への乗り入れはできません



白金キャンパス マップ



横浜キャンパス

〒244-8539 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518

各駅からのアクセス

戸塚駅から

【JR東海道線・上野東京ライン・横須賀線・湘南新宿ライン】
 (橋上改札から)改札を出て右手に進み、階段を下りて東口バスターミナルへ
 (地下改札から)改札を出て右手に進み、5番出口から東口バスターミナルへ

【横浜市営地下鉄ブルーライン】

改札を出てエスカレーターでB1Fに上がり、5番出口から東口バスターミナルへ

東口バスターミナルより、江ノ電バス「明治学院大学南門」行きに乗り、
 「明治学院大学南門」下車 ※乗車約12分

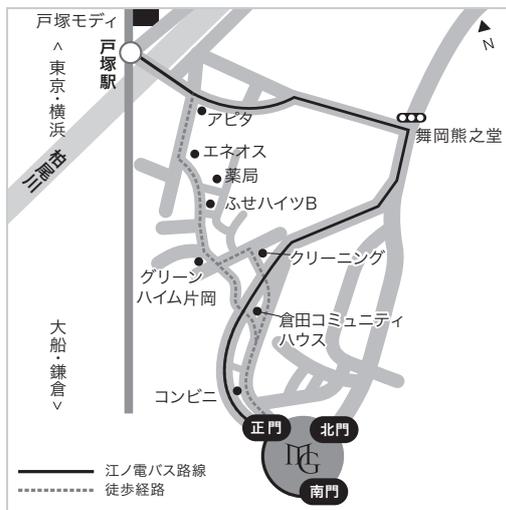
本郷台駅から

【JR根岸線】

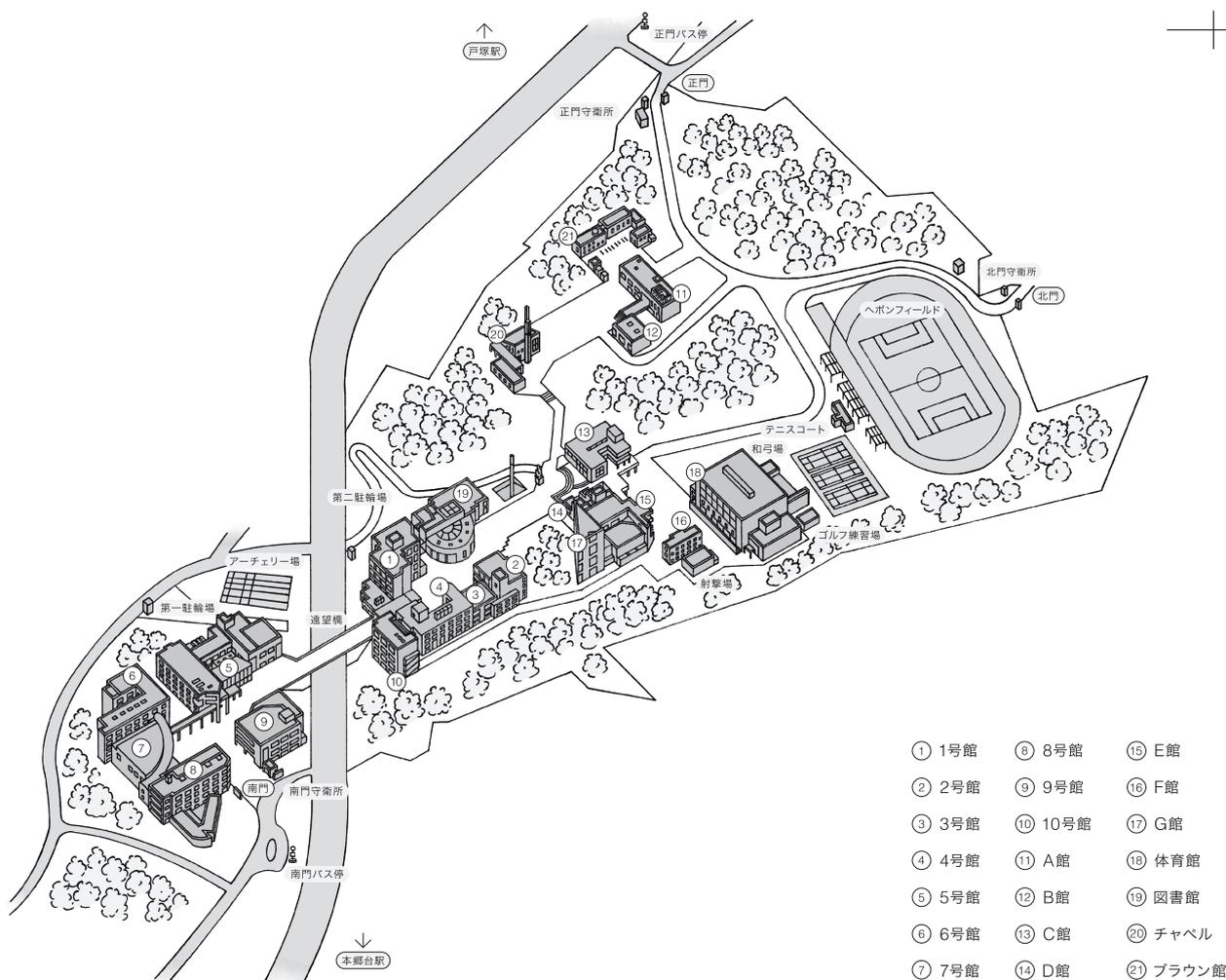
「地球市民プラザ」停留所より江ノ電バス「戸塚駅」行きに乗り、「明治学院大学南門」
 または「明治学院大学正門」にて下車(乗車約7分) ※1時間に1-2本

※南門から入構してください

※自家用車、タクシーのキャンパス内への乗り入れはできません



横浜キャンパス マップ



1705	沖縄県立芸術	2112	日本ウェルネススポーツ	2184	東京情報
1706	沖縄県立看護	2113	東京国際工科専門職	2185	東洋学園
1710	名桜	2114	東京保健医療専門職	2186	秀明
私立					
2001	旭川	2115	アール医療専門職	2187	麗澤
2002	札幌	2120	足利	2188	和洋女子
2003	札幌学院	2121	作新学院	2189	東京成徳
2004	星槎道都	2122	自治医科	2190	清和
2005	函館	2123	獨協医科	2191	愛国学園
2006	藤女子	2124	白鷗	2192	開智国際
2007	北星学園	2125	国際医療福祉	2193	千葉科学
2008	北海学園	2126	宇都宮共和	2194	デジタルハリウッド
2009	北海商科	2127	文星芸術	2195	東京医療保健
2010	北海道情報	2128	亀田医療	2198	東京富士
2011	北海道千歳リハビリテーション	2129	日本保健医療	2199	亜細亜
2013	北海道科学	2130	桐生	2200	青山学院
2014	酪農学園	2131	高崎商科	2202	大妻女子
2015	北海道医療	2132	三育学院	2203	桜美林
2016	札幌国際	2133	群馬パース	2204	学習院
2017	北翔	2134	育英	2205	北里
2018	北洋	2135	上武	2206	共立女子
2020	日本赤十字北海道看護	2136	関東学園	2208	杏林
2021	北海道文教	2137	共愛学園前橋国際	2209	国立音楽
2022	天使	2138	東京福祉	2210	慶應義塾
2023	育英館	2139	高崎健康福祉	2211	恵泉女学園
2024	札幌大谷	2140	群馬医療福祉	2212	工学院
2025	札幌保健医療	2141	植草学園	2213	國學院
2026	青森	2142	東都	2214	国際基督教
2027	柴田学園	2143	日本医療科学	2215	国土館
2028	八戸工業	2144	了徳寺	2216	駒澤
2029	八戸学院	2145	人間総合科学	2217	白百合女子
2030	弘前学院	2146	武蔵野学院	2218	実践女子
2031	青森中央学院	2147	跡見学園女子	2219	芝浦工業
2032	弘前医療福祉	2148	東京国際	2220	順天堂
2033	日本医療	2149	埼玉工業	2221	上智
2041	岩手医科	2150	埼玉医科	2222	杉野服飾
2042	富士	2151	明海	2223	昭和
2043	盛岡	2152	城西	2224	昭和女子
2044	岩手保健医療	2153	駿河台	2225	昭和薬科
2054	石巻専修	2154	聖学院	2226	女子栄養
2055	仙台	2155	東邦音楽	2227	女子美術
2056	東北学院	2156	獨協	2228	成蹊
2057	東北工業	2157	日本工業	2229	成城
2058	東北福祉	2158	文教	2230	聖心女子
2059	東北医科薬科	2159	文京学院	2231	清泉女子
2060	東北生活文化	2160	目白	2232	聖路加国際
2061	宮城学院女子	2161	十文字学園女子	2233	専修
2062	仙台白百合女子	2162	平成国際	2234	創価
2063	東北文化学園	2163	西武文理	2235	大東文化
2064	尚綱学院	2164	埼玉学園	2236	大正
2072	ノースアジア	2165	尚美学園	2237	拓殖
2073	日本赤十字秋田看護	2166	浦和	2238	高千穂
2075	秋田看護福祉	2167	共栄	2239	多摩
2082	東北文教	2168	日本薬科	2240	玉川
2083	東北芸術工科	2169	ものづくり	2241	多摩美術
2085	東北公益文科	2170	江戸川	2242	中央
2094	医療創生	2171	川村学園女子	2243	津田塾
2095	郡山女子	2172	神田外語	2244	帝京
2096	奥羽	2173	国際武道	2245	東海
2097	東日本国際	2174	淑徳	2246	東京医科
2098	福島学院	2175	城西国際	2247	東京音楽
2102	国際ファッション専門職	2176	聖徳	2248	東京家政
2106	情報経営イノベーション専門職	2177	千葉経済	2249	東京家政学院
2107	茨城キリスト教	2178	千葉工業	2250	東京経済
2108	常磐	2179	千葉商科	2251	東京工科
2109	流通経済	2180	敬愛	2252	東京歯科
2110	つくば国際	2181	中央学院	2253	東京慈恵会医科
2111	筑波学院	2182	帝京平成	2254	東京女子
		2183	東京基督教	2255	東京女子医科

2256	東京女子体育	2325	横浜美術	2436	愛知
2257	東京神学	2326	ヤマザキ動物看護	2437	愛知学院
2258	東京造形	2327	東京医療学院	2438	愛知医科
2259	東京電機	2328	日本映画	2439	愛知工業
2260	東京農業	2329	横浜創英	2440	愛知産業
2261	東京薬科	2330	新潟医療福祉	2441	愛知淑徳
2262	東京理科	2331	長岡	2442	愛知学泉
2263	桐朋学園	2332	敬和学園	2443	金城学院
2264	東邦	2333	新潟産業	2444	相山女学園
2265	東洋	2334	新潟薬科	2445	大同
2266	二松学舎	2335	新潟食料農業	2446	中京
2267	日本	2336	新潟経営	2447	至学館
2268	日本医科	2337	新潟国際情報	2448	中部
2269	日本歯科	2338	新潟工科	2449	同朋
2270	日本社会事業	2339	新潟青陵	2450	豊田工業
2271	日本獣医生命科学	2340	新潟リハビリテーション	2451	名古屋音楽
2272	日本女子	2341	湘南医療	2452	名古屋外国語
2273	日本女子体育	2342	湘南鎌倉医療	2453	名古屋学院
2274	日本赤十字看護	2343	開志専門職	2454	名古屋経済
2275	日本体育	2345	高岡法科	2455	名古屋芸術
2276	ルーテル学院	2346	富山国際	2456	名古屋商科
2277	日本文化	2347	長岡崇徳	2457	名古屋女子
2278	文化学園	2357	金沢医科	2458	名古屋造形
2279	法政	2358	金沢星稜	2459	藤田医科
2280	星薬科	2359	金沢工業	2460	南山
2281	武蔵	2360	北陸学院	2461	日本福祉
2282	東京都市	2361	北陸	2462	名城
2283	武蔵野音楽	2362	金沢学院	2463	愛知みずほ
2284	武蔵野美術	2363	金城	2464	東海学園
2285	武蔵野	2365	かなざわ食マネジメント専門職	2465	豊橋創造
2286	明治	2371	福井医療	2466	愛知文教
2287	明治学院	2372	福井工業	2467	桜花学園
2288	明治薬科	2374	仁愛	2468	名古屋文理
2289	明星	2383	帝京科学	2469	愛知工科
2290	立教	2384	山梨学院	2470	名古屋産業
2291	立正	2385	身延山	2471	人間環境
2292	和光	2386	山梨英和	2472	愛知東邦
2293	早稲田	2387	健康科学	2473	皇學館
2294	駒沢女子	2392	佐久	2474	鈴鹿医療科学
2295	東京純心	2393	松本	2475	京都美術工芸
2296	学習院女子	2394	松本看護	2476	四日市
2297	東京工芸	2396	松本歯科	2477	鈴鹿
2298	嘉悦	2397	清泉女学院	2478	四日市看護医療
2300	東京聖栄	2398	長野保健医療	2479	びわこ学院
2301	白梅学園	2405	岐阜保健	2480	長浜バイオ
2302	東京未来	2407	岐阜協立	2481	成安造形
2303	こども教育宝仙	2408	朝日	2482	平安女学院
2304	麻布	2409	岐阜女子	2483	聖泉
2305	神奈川工科	2410	岐阜聖徳学園	2484	びわこ成蹊スポーツ
2306	神奈川	2411	東海学院	2485	大阪保健医療
2307	関東学院	2412	中京学院	2486	京都医療科学
2308	神奈川歯科	2413	中部学院	2487	大谷
2309	鎌倉女子	2414	岐阜医療科学	2488	京都外国語
2310	湘南工科	2417	名古屋柳城女子	2489	京都産業
2311	相模女子	2420	静岡福祉	2490	京都先端科学
2312	産業能率	2421	浜松学院	2491	京都女子
2313	昭和音楽	2422	静岡理工科	2492	京都精華
2314	聖マリアンナ医科	2423	聖隷クリストファー	2493	京都芸術
2315	洗足学園音楽	2425	名古屋国際工科専門職	2494	京都薬科
2316	鶴見	2426	静岡産業	2495	京都光華女子
2317	桐蔭横浜	2427	常葉	2496	種智院
2318	田園調布学園	2429	静岡英和学院	2497	京都橘
2319	東洋英和女学院	2430	一宮研伸	2498	同志社
2320	フェリス女学院	2431	修文	2499	同志社女子
2321	横浜商科	2432	岡崎女子	2500	京都ノートルダム女子
2322	松蔭	2433	日本赤十字豊田看護	2501	佛教
2323	横浜薬科	2434	星城	2502	花園
2324	東京有明医療	2435	名古屋学芸	2503	明治国際医療

2504	立命館	2574	兵庫医科	2688	松山
2505	龍谷	2575	神戸国際	2689	松山東雲女子
2506	京都文教	2576	武庫川女子	2690	高知リハビリテーション専門職
2508	嵯峨美術	2577	流通科学	2691	高知学園
2509	森ノ宮医療	2578	神戸親和	2700	九州共立
2510	四條畷学園	2579	兵庫	2701	九州産業
2511	大阪青山	2580	関西福祉	2702	九州女子
2512	大阪女学院	2581	関西国際	2703	久留米
2513	大阪成蹊	2583	関西看護医療	2704	久留米工業
2514	羽衣国際	2586	姫路	2705	西南学院
2515	大阪人間科学	2587	畿央	2706	日本経済
2516	大阪医科薬科	2588	帝塚山	2707	第一薬科
2517	大阪音楽	2589	天理	2708	筑紫女学園
2518	大阪学院	2590	奈良	2709	福岡看護
2519	大阪経済	2591	奈良学園	2710	中村学園
2520	大阪経済法科	2592	神戸医療未来	2711	西日本工業
2521	大阪歯科	2593	宝塚医療	2712	福岡
2522	大阪芸術	2594	神戸常盤	2713	福岡工業
2523	大阪工業	2595	天理医療	2714	福岡歯科
2524	大阪国際	2596	大阪行岡医療	2715	福岡女学院
2525	大阪産業	2597	京都看護	2716	九州国際
2526	大阪樟蔭女子	2598	大和	2717	西南女学院
2527	大阪体育	2599	びわこリハビリテーション専門職	2718	九州情報
2528	大阪商業	2601	岡山医療専門職	2720	九州栄養福祉
2529	大阪電気通信	2602	高野山	2721	日本赤十字九州国際看護
2531	大阪大谷	2605	鳥取看護	2723	産業医科
2532	追手門学院	2606	和歌山リハビリテーション専門職	2724	聖マリア学院
2533	関西	2607	和歌山信愛	2725	福岡女学院看護
2534	関西医科	2608	大阪信愛学院	2727	西九州
2535	関西外国語	2613	岡山商科	2728	純真学園
2536	近畿	2614	岡山理科	2730	福岡国際医療福祉
2537	四天王寺	2615	川崎医科	2732	令和健康科学
2538	摂南	2616	川崎医療福祉	2738	長崎総合科学
2539	相愛	2617	吉備国際	2739	活水女子
2540	藍野	2618	くらしき作陽	2740	長崎純心
2541	帝塚山学院	2619	就実	2741	長崎国際
2542	梅花女子	2620	ノートルダム清心女子	2742	長崎外国語
2543	阪南	2621	美作	2743	鎮西学院
2544	桃山学院	2622	山陽学園	2751	崇城
2545	桃山学院教育	2623	倉敷芸術科学	2752	熊本学園
2546	関西福祉科学	2624	岡山学院	2753	尚綱
2547	太成学院	2625	中国学園	2754	九州ルーテル学院
2548	常磐会学園	2626	環太平洋	2755	九州看護福祉
2549	大阪観光	2627	大阪物療	2756	平成音楽
2550	関西医療	2632	エリザベト音楽	2757	熊本保健科学
2551	千里金蘭	2633	広島経済	2764	日本文理
2552	東大阪	2634	広島工業	2765	別府
2553	大阪総合保育	2635	広島修道	2766	立命館アジア太平洋
2554	大阪河崎リハビリテーション	2636	広島女学院	2776	南九州
2555	芦屋	2638	広島文教	2777	宮崎産業経営
2556	滋慶医療科学	2639	福山	2778	宮崎国際
2557	大手前	2640	安田女子	2779	九州保健福祉
2558	関西学院	2641	比治山	2788	鹿児島国際
2559	甲南	2642	福山平成	2789	志学館
2560	甲子園	2643	広島文化学園	2790	第一工科
2561	甲南女子	2644	広島国際	2791	鹿児島純心
2562	神戸海星女子学院	2646	日本赤十字広島看護	2801	沖縄国際
2563	神戸学院	2647	広島都市学園	2802	沖縄
2564	神戸芸術工科	2652	東亜	2804	沖縄キリスト教大学院
2565	神戸女学院	2653	梅光学院		
2566	神戸女子	2655	至誠館	7777	上記以外の大学
2567	神戸薬科	2656	宇部フロンティア	8888	外国の学校
2568	神戸松蔭女子学院	2657	山口学芸	0000	その他の大学
2569	大阪国際工科専門職	2664	四国		
2570	京都華頂	2665	徳島文理		
2571	園田学園女子	2676	四国学院		
2572	宝塚	2677	高松		
2573	姫路獨協	2687	聖カタリナ		

本コード表は、河合塾から提供の
あったデータに基づき作成された
ものです。

■学部コード一覧

A 1	文学部	H 1	システム工学部	T 1	児童学部
A 2	文芸学部	H 2	開発工学部	T 2	人間発達科学部
A 3	神学部	H 3	デザイン工学部	T 3	保育学部
A 4	仏教学部	K 1	農学部	V 1	芸術学部
A 5	外国語学部	K 2	園芸学部	V 2	美術学部
A 6	人文学部	K 3	獣医畜産学部	V 3	造形学部
A 7	国際言語文化学部	K 4	獣医学部	V 4	美術工芸学部
A 8	比較文化学部	K 5	畜産学部	V 5	音楽学部
A 9	国際文化学部	K 6	農獣医学部	V 6	芸術専門学群
B 1	現代文化学部	K 7	酪農学部	V 7	造形芸術学部
B 2	日本文化学部	K 8	水産学部	V 8	デザイン学部
B 4	文化学部	K 9	海洋学部	X 1	教養学部
B 5	人文科学部	L 1	水畜産学部	X 2	文理学部（文科系）
B 7	人間文化学部	L 2	繊維学部	X 3	文理学部（理科系）
BA	心身科学部	L 3	生物生産学部	X 4	学芸学部
C 1	社会学部	L 4	生物資源学部	X 5	文教育学部
C 2	社会科学部	L 5	生物産業学部	X 6	法文学部
C 3	産業社会学部	M 1	医学部	X 7	理工学部
C 4	社会福祉学部	M 6	歯学部	X 8	文家政学部
C 5	法学部	M 8	薬学部	X 9	総合科学部
C 6	法経学部	M 9	保健学部	XA	総合政策学部
C 7	政経学部	N 1	看護学部	XB	環境情報学部
C 8	政治経済学部	N 2	衛生看護学部	XC	人間社会学部
C 9	経済学部	N 3	栄養学部	XD	生命理工学部
D 1	経営学部	N 4	衛生学部	XE	不動産学部
D 2	商学部	N 5	医学専門学群	XF	人間学部
D 3	商経学部	N 7	環境保健学部	XG	総合人間学部
D 4	経営情報学部	N 8	鍼灸学部	XH	発達科学部
D 5	情報学部	N 9	保健衛生学部	XI	情報文化学部
D 6	国際政治経済学部	O 1	医療福祉学部	Y 1	第一学群
D 7	行政社会学部	O 2	医療技術学部	Y 2	第二学群
D 8	経済情報学部	O 3	看護福祉学部	Y 3	第三学群
D 9	国際商学部	O 4	保健医療学部	Y 4	人間科学部
DA	社会情報学部	O 5	保健福祉学部	Y 5	人文社会科学部
DB	国際経済学部	P 1	商船学部	Y 6	国際関係学部
DC	経営経済学部	Q 1	家政学部	Y 7	図書館情報学部
E 1	理学部	Q 2	生活科学部	Y 8	国際学部
E 2	情報科学部	Q 3	食品栄養科学部	Y 9	人間関係学部
G 1	工学部	Q 4	人間生活学部	YA	人文・社会学部
G 2	基礎工学部	Q 5	生活環境学部	YB	スポーツ健康科学部
G 3	生産工学部	Q 6	食文化学部	YC	生物理工学部
G 4	工芸学部	Q 7	服装学部	YD	環境学部
G 5	芸術工学部	Q 9	食物栄養学部	YE	コンピュータ理工学部
G 6	電気通信学部	S 1	教育学部	Z 1	教養部（文科系）
G 7	鉱山学部	S 3	体育学部	Z 2	教養部（理科系）
G 8	情報工学部	S 4	体育専門学群	Z 9	その他
G 9	医用工学部	S 5	学校教育学部	9 9	心理学部



明治学院大学大学院事務室

白金校舎

〒 108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

電話 (03) 5421-5180 FAX (03) 5421-5239

横浜校舎

〒 244-8539 横浜市戸塚区上倉田町 1518

電話 (045) 863-2243

E-mail (共通) dgakuin@mguad.meijigakuin.ac.jp

